

2021年12月28日

各 位

会 社 名 株式会社ニッポン
 代表者名 代表取締役社長 前鶴 俊哉
 (コード番号2001 東証1部)
 問合せ先 広報部長 福山 幸一郎
 (TEL. 03-3511-5307)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	158,000	5,000	5,700	3,800	49.55
実績値 (B)	157,535	5,869	7,362	5,235	68.27
増減額 (B) - (A)	△464	869	1,662	1,435	—
増減率 (%)	△0.3	17.4	29.2	37.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	140,735	4,192	5,146	3,539	46.17

2. 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、冷凍食品類が家庭内での内食需要の高まりにより引き続き好調に推移しているほか、業務用食品及び中食事業の需要が前年の低迷から回復したことで、売上高は業績予想並みに推移しました。利益面につきましては、営業利益は生産効率の向上とコスト削減によって、経常利益は為替の影響によって業績予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却による売却益の影響によって業績予想を上回りました。なお、本年7月7日に発生したサイバー攻撃によるシステム障害に係る諸費用として特別損失を計上しております。

通期連結業績予想につきましては、新たな変異株の発生から、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せず、また原材料価格の高騰や為替相場の動向など、依然として当社グループを取り巻く事業環境は先行き不透明な状況が続くと見込まれることから、現時点では、2021年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を据え置いております。

以 上